

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンエー化研

コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤岡 宣隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 芝 彦尚

TEL 03-3241-5701

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	15,418	△9.7	185	△78.4	249	△71.9	181	△65.8
26年3月期第2四半期	17,075	6.3	856	127.8	889	93.8	530	126.4

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 345百万円 (△41.8%) 26年3月期第2四半期 592百万円 (164.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	16.50	16.48
26年3月期第2四半期	48.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
27年3月期第2四半期	29,829		16,247	54.0			1,467.21	
26年3月期	30,148		15,694	51.6			1,416.93	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 16,102百万円 26年3月期 15,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	
27年3月期	—	7.00				
27年3月期(予想)			—	7.00	14.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,400	△7.9	300	△74.4	410	△67.5	280	△66.4	25.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記資料)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	11,320,000 株	26年3月期	11,320,000 株
27年3月期2Q	345,203 株	26年3月期	346,703 株
27年3月期2Q	10,973,395 株	26年3月期2Q	10,971,797 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、先進国を中心に緩やかな回復基調にありました。なかでも米国経済は、企業の設備投資意欲の高まりと失業率の改善もあって、着実に回復へと向かっております。それに対し、欧州経済は依然として回復への足どりが重く、デフレが懸念される状況です。また、中国経済は比較的高い成長率を維持しておりますが、都市部の住宅供給過剰や企業の過大な設備投資の調整過程にあり、景気減速はしばらく続くものと思われまます。

一方、わが国経済は、消費税増税に伴うかけ込み需要の反動減と税率引き上げによる購買力低下から個人消費が振るわず、成長率は鈍化しました。また、8月以降の急激な円安の進行によって輸出の伸びが期待されましたが、既に多くの企業が生産拠点の海外移転を進めており、当期間における円安による経済効果がプラスに作用するには至りませんでした。

そのような状況下、当社グループにおきましては、国内消費の落ち込みによりすべてのセグメントで減収となりましたが、とりわけ機能性材料については、受注が好調であった前年同期との落差が大きく、業績低下の最大の要因となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高154億18百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益1億85百万円（前年同期比78.4%減）、経常利益2億49百万円（前年同期比71.9%減）、四半期純利益1億81百万円（前年同期比65.8%減）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりです。

軽包装材料

当セグメントにつきましては、主力製品のひとつである電子レンジ対応食品包材「レンジD o!」が堅調な受注を受け、前年同期比微増となりました。また、高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」をはじめ医薬・医療用包材は、新規ユーザーの獲得等により増収となりました。

一方、エア緩衝材についてはユーザーの減産によって、清涼飲料用パウチについては夏場の天候不順によって、それぞれ減収となった他、その他の一般包材についても消費税増税に伴うかけ込み需要の反動減と個人消費不振の影響を受け、減収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は71億60百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

産業資材

当セグメントにつきましては、住宅建設と物流面の落ち着きとユーザーの在庫調整によってテープ基材関連の売上は前年同期比で減少しました。

剥離紙については、自動車関連部材用や電子部品固定用として使用されるものは比較的堅調な売上を維持しましたが、ラベル用など一般用途については競争激化により、また、フレキシブルプリント基板用の電材用工程紙については海外ユーザーからの受注減少により、それぞれ売上が低調となり、剥離紙全体としては前年同期比で減収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は37億48百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

機能性材料

当セグメントにつきましては、これまで好調であった携帯情報端末向けの表面保護フィルムが、競合他社との競争激化と韓国向けの販売不振の影響を受け、前年同期比で大幅な減収となりました。特に、一般用途や偏光板等の光学用途に使用される「サニテクト」、「PAC」は需要の減少と低価格化が進み、厳しい状況が続きました。

「SAT」については、一部の高付加価値タイプは一定の売上を確保しましたが、対象端末のモデルチェンジやタッチパネルの部材構成の変化等により減収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43億7百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	7,160百万円	46.5%	1.5%減
産業資材	3,748百万円	24.3%	5.7%減
機能性材料	4,307百万円	27.9%	23.3%減
その他	202百万円	1.3%	5.1%減
合計	15,418百万円	100.0%	9.7%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末と比べて3億19百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が7億82百万円増加したことや、投資その他の資産の「その他」に含まれる退職給付に係る資産が3億52百万円増加したこと等の増加要因がありましたが、現金及び預金が8億85百万円減少したことや、受取手形及び売掛金が4億48百万円減少したこと等の減少要因に相殺されたためであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末と比べて8億72百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億29百万円減少したことや、未払法人税等が2億25百万円減少したこと、長期借入金が2億25百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて5億53百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が3億89百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が1億70百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通し勘案した結果、平成26年10月17日に発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、業績の見通しに変化がある場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が355,218千円増加し、退職給付に係る負債が88,550千円減少し、利益剰余金が285,609千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,107,202	5,221,911
受取手形及び売掛金	10,007,203	9,559,066
電子記録債権	925,286	1,155,051
商品及び製品	1,235,352	1,334,498
仕掛品	1,470,609	1,305,552
原材料及び貯蔵品	825,272	705,913
その他	293,896	295,312
貸倒引当金	△49,777	△48,974
流動資産合計	20,815,044	19,528,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,419,296	2,374,569
機械装置及び運搬具(純額)	1,091,796	1,074,298
土地	1,916,530	1,916,530
その他(純額)	294,647	203,892
有形固定資産合計	5,722,271	5,569,291
無形固定資産	22,155	19,807
投資その他の資産		
投資有価証券	3,139,863	3,922,725
退職給付に係る資産	347,653	700,060
その他	103,149	89,829
貸倒引当金	△1,708	△730
投資その他の資産合計	3,588,959	4,711,885
固定資産合計	9,333,386	10,300,984
資産合計	30,148,430	29,829,315

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,808,308	6,478,484
短期借入金	3,310,000	3,340,000
未払法人税等	285,607	59,872
賞与引当金	484,127	453,064
役員賞与引当金	6,966	7,800
その他	1,572,596	1,338,033
流動負債合計	12,467,606	11,677,254
固定負債		
長期借入金	639,985	414,739
役員退職慰労引当金	129,099	115,279
環境対策引当金	274,124	274,074
退職給付に係る負債	563,497	470,446
資産除去債務	99,439	99,964
その他	280,599	530,342
固定負債合計	1,986,744	1,904,845
負債合計	14,454,350	13,582,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,298	2,136,756
利益剰余金	10,877,642	11,267,582
自己株式	△116,459	△115,955
株主資本合計	15,073,480	15,464,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	585,707	756,447
為替換算調整勘定	1,278	△15,734
退職給付に係る調整累計額	△111,972	△102,654
その他の包括利益累計額合計	475,013	638,057
新株予約権	18,133	17,956
少数株主持分	127,451	126,817
純資産合計	15,694,079	16,247,215
負債純資産合計	30,148,430	29,829,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,075,662	15,418,882
売上原価	14,685,117	13,780,279
売上総利益	2,390,545	1,638,602
販売費及び一般管理費	1,534,390	1,453,448
営業利益	856,155	185,154
営業外収益		
受取利息	178	372
受取配当金	40,111	43,785
作業くず売却益	33,337	28,334
クレーム収入	58,987	13,606
その他	22,682	9,588
営業外収益合計	155,297	95,687
営業外費用		
支払利息	23,399	18,805
持分法による投資損失	—	5,047
環境対策費	94,960	—
その他	3,252	7,335
営業外費用合計	121,612	31,188
経常利益	889,840	249,652
特別損失		
固定資産除却損	1,487	—
環境対策設備除却関連損失	62,595	—
特別損失合計	64,083	—
税金等調整前四半期純利益	825,756	249,652
法人税、住民税及び事業税	164,082	56,348
法人税等調整額	129,299	11,383
法人税等合計	293,382	67,732
少数株主損益調整前四半期純利益	532,374	181,920
少数株主利益	2,163	776
四半期純利益	530,210	181,144

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	532,374	181,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,395	170,828
退職給付に係る調整額	—	9,318
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△17,013
その他の包括利益合計	60,395	163,133
四半期包括利益	592,770	345,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	590,647	344,188
少数株主に係る四半期包括利益	2,122	865

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	825,756	249,652
減価償却費	327,168	321,453
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,156	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△24,145
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,413	△13,819
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,645	△1,781
受取利息及び受取配当金	△40,290	△44,157
支払利息	23,399	18,805
持分法による投資損益 (△は益)	—	5,047
固定資産除却損	1,487	—
環境対策費	94,960	—
環境対策設備除却関連損失	62,595	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△833,338	237,251
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△186,147	185,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	804,437	△376,376
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,107	96,458
前払年金費用の増減額 (△は増加)	44,394	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	36,934
その他	△50,285	9,536
小計	1,057,107	700,130
利息及び配当金の受取額	40,291	44,157
利息の支払額	△24,211	△18,931
環境対策費の支払額	△34,388	△168,584
火災損失の支払額	△63,950	—
法人税等の支払額	△86,346	△295,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	888,502	261,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△128,083	△273,256
投資有価証券の取得による支出	△11,361	△539,384
投資有価証券の売却による収入	54,015	—
貸付けによる支出	△770	△920
貸付金の回収による収入	1,951	1,444
その他	△9,661	23,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,909	△788,940
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△80,000	30,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△445,308	△254,408
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の処分による収入	—	786
配当金の支払額	△76,982	△77,006
少数株主への配当金の支払額	△860	△1,500
リース債務の返済による支出	△28,309	△21,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	△441,460	△323,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△4,538
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	353,132	△855,637
現金及び現金同等物の期首残高	5,208,750	5,974,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,561,883	5,118,406

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	7,272,268	3,976,378	5,613,787	16,862,435	213,227	17,075,662
セグメント利益	232,105	2,784	593,505	828,395	27,759	856,155

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	7,160,603	3,748,652	4,307,193	15,216,449	202,434	15,418,882
セグメント利益又は損失 (△)	197,222	△23,880	△4,458	168,884	16,270	185,154

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。